

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成29年12月21日(2017.12.21)

【公開番号】特開2016-100804(P2016-100804A)
 【公開日】平成28年5月30日(2016.5.30)
 【年通号数】公開・登録公報2016-033
 【出願番号】特願2014-237404(P2014-237404)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/74 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 1/00 H

H 0 4 N 5/74 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月10日(2017.11.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

図4は、指示体20のハードウェア構成を示すブロック図である。図4に示すように、指示体20は、CPU21と、ROM22と、RAM23と、操作部24と、発光部25と、通信インターフェース26と、記憶部27とを備える。

CPU21は、ROM22に記憶されたプログラムを、RAM23に読み出して実行することにより、指示体20の各部を制御するプロセッサである。操作部24は、各種操作を行うための操作子(例えば物理キー)を備えた操作手段である。発光部25は、赤外光を発する発光ダイオードを有し、CPU21の制御に従って、点灯又は消灯する。通信インターフェース26は、プロジェクター10と通信(無線通信)し、プロジェクター10との間でデータの入出力(送受信)を行う通信部である。通信インターフェース26は、例えば、プロジェクター10から赤外光で送られる信号を受信する。また、通信インターフェース26は、Bluetooth(登録商標)に準拠した近距離無線通信を、指示体20と行うことにより、指示体20とデータの入出力を行ってもよい。記憶部27は、画像情報の出力先を特定する出力先情報として、制御コード271を記憶(保持)する。